



身を守る 埋い避難は が は が は が は









あの惨に事がなるなが、





身を守るい伝え験が伝え

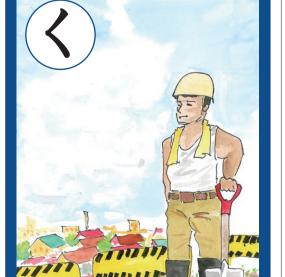






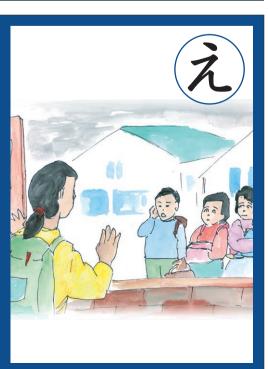


水防災ができなが、





きちまもる 造る堤 り で





両りようどなり ・ 放展 ・ 放展 ・ よりも





水害の 五十年 こわさを知って





携は、 お友達な ラジ イは常に



助け合 最^{もっ}と も 声え が 大事な け は





意、中发生、 で防災 活かっ 識さ づけ





災害が 忘れる暇なく やってくる は

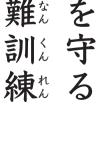


想定なが 想定外も





避なを切りない。







何能避如迅能 よりも 難な速で大なりかった。なり







憂い無し 流されぬ 流されぬ





心の堤防 つないで作ろう 地域の輪





命だけなものがおけるもの









堤防守るとながらぬれながらぬれながら



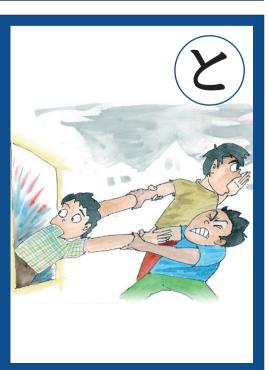


過去の例がアップと





想定しいざという時

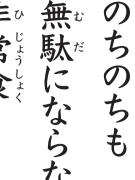




頼り組みとなりぐみとなりぐみ



非常食 無駄にならない





〇地四公民館



はやめ

自主避難 は や め



I

防災の

心がけ イロハは日々の

守ります

大事な頭を

ヘルメット



学ぼうよ 命なり

水防災 **(7)** た めに



確実に 迷。 避ひ 込わず慌てず 難指示

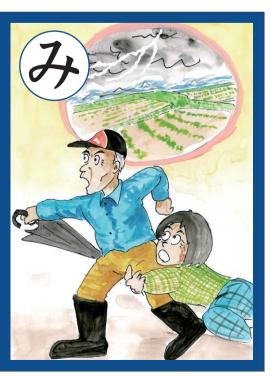


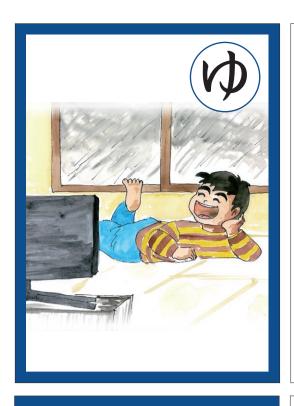
命がそ見み 取りがいた。





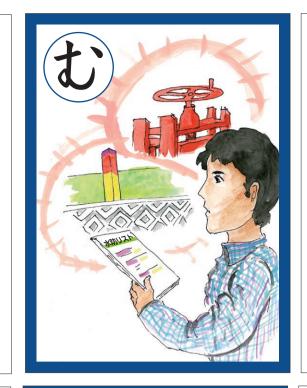
気き雨の降が の り 出た した IJ







増すが常になず 油断ダメ



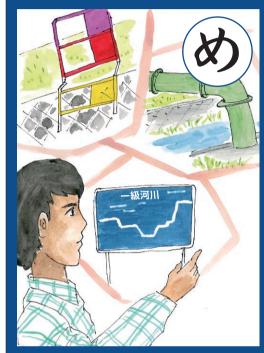
意識して いつも水防 無駄じゃない



明ったをではり



時待たず 夜中でも 昼間でも洪水





水はあの堰 越えるかも も しかして



5

ラジオなら 聴こえるよ どんなときでも



危険な箇所を流域の

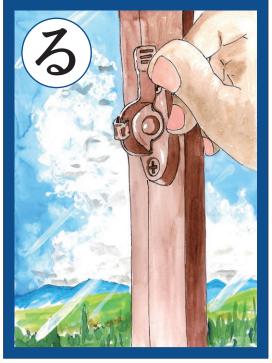




周到 災が だいさい 策







窓閉めていい。窓間の時の時の時

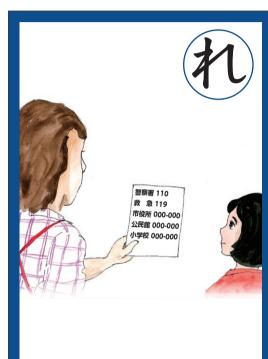


を~すごいを~すごい



を

見極めるのなべんだべした



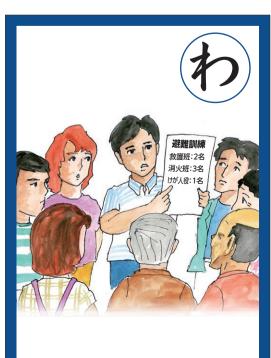


き終いストを終めるよう





過去の例がなるのが





いまれるなの地域 へんなの地域